

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公表番号】特表2014-522817(P2014-522817A)

【公表日】平成26年9月8日(2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-048

【出願番号】特願2014-517211(P2014-517211)

【国際特許分類】

A 61 K 31/385 (2006.01)
A 61 K 45/00 (2006.01)
A 61 P 3/02 (2006.01)
A 61 K 31/198 (2006.01)
A 61 K 31/197 (2006.01)
A 61 K 31/185 (2006.01)
A 61 P 25/00 (2006.01)
A 61 K 33/30 (2006.01)
A 61 K 33/06 (2006.01)
A 61 K 33/04 (2006.01)
A 61 K 33/34 (2006.01)
A 61 K 33/32 (2006.01)
A 61 K 33/26 (2006.01)
A 61 K 33/18 (2006.01)
A 61 K 33/22 (2006.01)
A 61 K 31/375 (2006.01)
A 61 K 31/4415 (2006.01)
A 61 K 31/714 (2006.01)
A 61 K 31/593 (2006.01)
A 61 K 31/355 (2006.01)
A 61 K 31/51 (2006.01)
A 61 K 31/525 (2006.01)
A 61 K 31/4188 (2006.01)
A 61 P 35/00 (2006.01)
A 61 P 37/06 (2006.01)
A 61 P 31/18 (2006.01)
A 61 P 31/12 (2006.01)
A 61 P 25/16 (2006.01)
A 61 P 25/28 (2006.01)
A 61 P 25/24 (2006.01)
A 61 P 9/00 (2006.01)
A 61 P 7/06 (2006.01)
A 61 K 31/138 (2006.01)
A 61 K 31/015 (2006.01)
A 61 K 33/24 (2006.01)
A 61 K 31/455 (2006.01)
A 61 K 31/205 (2006.01)
A 61 K 31/519 (2006.01)
A 61 K 31/047 (2006.01)
A 61 K 31/137 (2006.01)
A 61 K 31/235 (2006.01)

A 6 1 K 31/165 (2006.01)
A 6 1 K 31/522 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/385
A 6 1 K 45/00
A 6 1 P 3/02
A 6 1 K 31/198
A 6 1 K 31/197
A 6 1 K 31/185
A 6 1 P 25/00
A 6 1 K 33/30
A 6 1 K 33/06
A 6 1 K 33/04
A 6 1 K 33/34
A 6 1 K 33/32
A 6 1 K 33/26
A 6 1 K 33/18
A 6 1 K 33/22
A 6 1 K 31/375
A 6 1 K 31/4415
A 6 1 K 31/714
A 6 1 K 31/593
A 6 1 K 31/355
A 6 1 K 31/51
A 6 1 K 31/525
A 6 1 K 31/4188
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 37/06
A 6 1 P 31/18
A 6 1 P 31/12
A 6 1 P 25/16
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 25/24
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 7/06
A 6 1 K 31/138
A 6 1 K 31/015
A 6 1 K 33/24
A 6 1 K 31/455
A 6 1 K 31/205
A 6 1 K 31/519
A 6 1 K 31/047
A 6 1 K 31/137
A 6 1 K 31/235
A 6 1 K 31/165
A 6 1 K 31/522

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月12日(2015.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療上有効な低投与量の中枢神経系刺激薬；

L-カルニチンおよびL-チロシンを含む、治療上有効な量の微量栄養素刺激成分；ならびに

N-アセチルシステインおよびアルファ-リポ酸を含む、治療上有効な量の微量栄養素抗酸化成分

を含む、慢性疲労の治療用の経口投与組成物。

【請求項2】

アセチル-L-カルニチンは60～250mgの範囲で存在する、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

L-チロシンは50～200mgの範囲で存在する、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

N-アセチルシステインは60～250mgの範囲で存在する、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

アルファ-リポ酸は25～100mgの範囲で存在する、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

L-タウリン約25～100mgを更に含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

中枢神経系刺激薬は、約2mg～20mgの量のアトモキセチンHC1、約0.75mg～7.5mgの量のメチルフェニデートHC1、約0.5mg～5mgの量のデクスマチルフェニデートHC1、約4mg～40mgの量のモダフィニル、約4mg～40mgの量のアルモダフィニル、または約1mg～10mgの量のアンフェタミンからなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項8】

ビタミンB6(ピリドキシン)およびビタミンB12のうちの1つまたはそれ以上を更に含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項9】

ビタミンC、ビタミンE、ベータカロテン、亜鉛およびセレンのうちの1つまたはそれ以上を更に含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項10】

アセチル-L-カルニチン、L-チロシン、ビタミンB6(ピリドキシン)、ビタミンB12、N-アセチルシステイン、アルファ-リポ酸、L-タウリン、ビタミンC、ビタミンEおよびベータカロテンを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項11】

1日当たり低投与量の中枢神経系刺激薬を投与するステップ、ならびに

1日当たり治療上有効な投与量の、アセチル-L-カルニチン、

L-チロシン、

N-アセチルシステイン、および

アルファ-リポ酸

を投与するステップ、

を含む、ヒト患者における慢性疲労の治療方法であって、ここで

約100～2000mg/日の範囲でアセチル-L-カルニチンを投与し、

約100～2000mg/日の範囲でL-チロシンを投与し、

100～2000mg/日の範囲でN-アセチルシステインを投与し、そして50～1000mg/日の範囲でアルファ-リポ酸を投与する、上記方法。

【請求項12】

慢性疲労は、慢性疲労症候群または線維筋痛症に関連する、請求項11に記載の方法。

【請求項13】

慢性疲労は、癌、HIV/AIDS、B型およびC型慢性肝炎、自己免疫疾患、ライム病、パーキンソン病、アルツハイマー病、精神的疾患（うつ病、ADDおよびADHDを含む）、多発性硬化症、鐮状赤血球貧血ならびにうつ血性心不全の群から選択される状態に関連する、請求項11に記載の方法。

【請求項14】

CNS刺激薬、アセチル-L-カルニチン、L-チロシン、N-アセチルシステインおよびアルファ-リポ酸を、配合剤形で、一緒に経口投与する、請求項11に記載の方法。

【請求項15】

CNS刺激薬は、2.5～40mg/日の量で投与するメチルフェニデート、30～100mg/日の量で投与するモダフィニル、20～80mg/日の量で投与するアルモダフィニル、2.5～10mg/日の量で投与するデクスマチルフェニデート、2.5～20mg/日の量で投与するアンフェタミン、20～50mg/日の量で投与するアトモキセチン、または15～200mg/日の量で投与するカフェインからなる群から選択される、請求項11に記載の方法。